

各位

会社名 株式会社TSIホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 下地 毅
 (東証プライム市場 コード番号 3608)
 問合せ先 経営企画部 戦略・広報 IR 課 長谷川 俊介
 TEL 03(5785)6400

通期業績予想の修正に関するお知らせ

本日に公表しました業績動向を踏まえ、2023年4月12日に公表しました2024年2月期の連結業績予想を修正することとしましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	162,000	4,700	5,500	3,500	41.54 円
今回修正予想 (B)	154,400	1,400	3,000	2,800	34.06 円
増減額 (B - A)	△7,600	△3,300	△2,500	△700	
増減率 (%)	△4.7%	△70.2%	△45.5%	△20.0%	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	154,456	2,329	3,859	3,063	35.21 円

2. 修正の理由について

売上高について、市場全体としてはコロナ前の水準に戻りつつある中、当社では昨年までけん引していたゴルフスポーツ市場の成長が落ち着いてきたことに加え、米国におけるストリートカジュアル市場の大幅な落ち込みにより、売上成長が鈍化しております。Eコマースの売上高においても、先述の内容に加え、大型ブランドの未達により、今回修正に至りました。

売上総利益につきましては、売上成長を狙った積極的な商品投入を行ったものの、注力ブランドの売上未達により、在庫が過剰となり、それに伴う値引き販売や評価損が増加しました。

また、原材料の高騰による仕入れコストの増加を、価格転嫁で吸収しきれず、売上総利益率が悪化しております。

販管費は売上高減少に伴う家賃や広告費等の変動費削減により一定の抑制を見込みますが、売上総利益の減少影響が大きく、営業利益は前回予想を大幅に下回る見込みです。

受取配当金による営業外収益の計上や、投資有価証券売却益による特別利益の計上があるものの、営業利益の下振れ影響が大きく、親会社に帰属する当期純利益も前回予想を下回る見込みです。

今回決算の内容を受け、昨年末より外部専門家チームを交えた戦略的な事業ポートフォリオの選定や、販売価格の最適化、仕入れコストの抑制および販管費の削減など、事業全体にかかる利益構造の改革に向けたプロジェクトを開始しました。これに伴う影響額は算定中であり、2024年4月中旬の決算発表にて、中期経営計画の施策として公表予定です。

以上